

# 水稻育苗箱専用長期持続型殺虫殺菌剤

明治

Dr.オリゼ<sup>®</sup>スタークル<sup>®</sup> 箱粒剤

ジノテフラン..... 2.0%  
 プロベナゾール..... 25.0%  
 鉱物質微粉等..... 73.0%

毒性 普通物 有効年限 5年 包装 1kg × 12袋

農林水産省登録 第 22417 号

## ●特 長

1. 育苗箱施用で、水稻初期・中期の主要病害虫であるいもち病、もみ枯細菌病、白葉枯病、イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、ニカメイチュウ、イネクロカメムシ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガ等を同時防除できます。
2. 育苗箱当り50g施用で、長期間にわたって高い効果を示すので、省力的、経済的です。

## ●適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 もみ枯細菌病 白葉枯病 ウンカ類 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネクロカメムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化期～ 移植当日	1回	育苗箱の苗の上から 均一に散布する
	フタオビコヤガ		移植3日前～ 移植当日		

ジノテフランを含む農薬の 総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の 総使用回数
4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は 合計1回以内、本田での散布、空中散布、 無人ヘリ散布は合計3回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)

(平成28年7月6日現在の登録内容)

## ●効果・薬害等の注意

---

- 育苗箱の苗の上から所定薬量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落とした後、十分灌水する。
- 稲苗の葉がぬれていると、薬剤が付着して薬害を生ずる場合もあるので、散布直前の灌水はさける。
- 軟弱徒長苗、むれ苗などでは薬害を生ずるおそれがあるので、必ず健苗に使用する。
- 処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害が生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意する。
- 処理苗を本田に移植したのちは、そのまま湛水状態(湛水深3~5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意する。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさける。
- 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさける。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持する。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。